

# 8 福祉施設



車椅子などを贈られた社  
(左から4人目) = 28日、

総合が言及した一戸建てで、車椅子があると非常に助かる。有効に活用したい」と感謝した。下関支部は1981年に発足し、会員は33団体2563人。10年以上前から毎年、市内の社会福祉法人に車椅子を届けており、沼支部長は「高齢の方や障害のある方が積極的に社会活動に参加できるようにと続けてきた。皆さんに喜んでいただけたら」と話した。(久岡照代)

## シーツぬらさずに洗身

### 防府で新開発介護用具発表会

世界で初めて開発され4月に発売される介護用洗身用具の発表・説明会が27日、防府市八王子のサンライフ防府であり、開発した家電メーカー、シリウス(東京都)の亀井隆平社長が社会福祉施設や販売代理店の関係者に機能や特長などを説明した。

新開発の介護用洗身用具は、サイクロン式掃除機の原理を応用して湯を肌にかき付けて瞬時に吸い取ることで体を洗浄する仕組みで、その名も「swittle-BODY(スイトル・ボディ)」。肌に優しい専用の弱酸性洗剤を使い、吸引力が強いため肌に密着し、湯や洗剤が流れ出ないのが特長。高齢者や体の不自由な人がベッドに横たわ



新開発した介護用洗身用具「swittle-BODY」を実演するシリウスの亀井隆平社長 = 27日、防府市八王子

ったままの状態でもシーツをぬらすことなく使うことができる。アタッチメントの交換で洗髪も可能。本体の重さは5.5キロで軽く、1人で持ち運びができる。大人1人の全身を洗っても使う湯は1リットル、水や省エネのほか、介護従事者の労力軽減が期待できるといふ。販売価格は16万8千円(税別)で、介護保険が適用できるように手続きを進めている。実演した亀井社長は「超高齢化社会を控え、人手不足となる介護分野の人助けになれば」と話した。県内の問い合わせは、周南市の日本メディカルミッション&テクノロジー(電話0834-62-0650)へ。(大下秀幸)



式の後、記念写真に納まる出席者 = 28日、県警本部

## うそ電話被害防げ 県警に啓発マスク

うそ電話詐欺被害の防止に向け、日本損害保険協会中国支部山口損保会は28日、県警に「うそ電話詐欺被害防止広報マスク」を贈った。

同支部は中国地方の各県警察と連携してうそ電話詐欺の被害防止に取り組んでおり、広報啓発物品として被害防止を呼びかけるチラシとマスクをセットにしたグッズ「うそ電話詐欺被害防止広報マスク」を作成した。同協会の関係者や警察署員らが広報活動などで配布する。

県警本部で贈呈式があり、同損保会の清水裕子会長(あいおいニッセイ同和損害保険山口支店長)がマスク4千枚を贈呈。「災害



明治安田生命保険山口支社の金融保険講座が山口市

## 山口・阿東中で 金融保険講座

明治安田生命

安全企画課の安井伸友安全・安心対策官は「被害額が既に1億円を超えており厳しい状況。県民の方々にしっかりと広報していきたい」と述べた。(末広諒子)

阿東地福あり、1参加した同社山也所長)山口銀行さんが講の課金とはじめ、グや保険て教えた2年のは「お全いくこた、(15)と(13)はプランにた」と推明治20年阿東中生命保険講座(同社

東